

岩手県野田村の支援・交流活動報告（2013年12月19日）

この日の活動は、弘前市市民参画センターと当ボランティアセンターで集めたクリスマス・プレゼントを野田村の子供たちに届けることでした。この日は、平日の授業日だったので、活動を行ったのは、授業のなかった学生事務局4名と、わざわざ休みを取って参加してくれた学生事務局 OB1名、そして教員1名の計6名です。

今年のクリスマス・プレゼントは、市民参画センターを通して募集した弘前市民の皆さまからのプレゼントが合計410個も届いていました。「長距離の移動なので、ボランティアにはなかなか参加できないけれど、このような形で参加できてうれしい」と、かわいいプレゼントを届けてくださった市民の方々のお気持ちがとつても嬉しかったです。また、「リボンをつけるのを忘れた」ともう一度リボンをもってきてくださった温かい気持ちに感謝・感激です。大事に、大事にその気持ちをお届けしたいと改めて思いました。

また、ボランティア活動に協力してくださった市民団体の皆さんが、周りの方に声掛けをしてくださり、支援の輪がどんどん広がって昨年を大幅に上回る数のプレゼントが集まりました。そして、学生事務局員の皆さんが大学の文化祭で野田村物産展を開き、得られた収益金を用いて、文房具やお菓子を可愛い袋に詰めて準備してくれました。暑い中、声がかれるまで呼びかけて、売り上げた甲斐がありましたね。



入念な打ち合わせ

野田村小学校に着いたら、校長先生が出迎えてくださいました。この日は午後から学年面談が予定されていたため、多くの時間が取れなかったため、事前に入念に打ち合わせを行いました。プレゼントは低学年の1・2年生から順番に配布することにしました。1年生の教室のドアを開けて、トナカイさんとサンタさんが入ると、わーい！ やった！ サンタさんだ！と大きな歓声が上がりました。サンタさんが、「今年も良い子だった人？」と尋ねると、いっせいに「はい！」と元気な声で返事していました。一人一人にプレゼントを手渡すと大きな声で、「ありがとうございます！」と言ってくれました。

高学年になると少し落ち着いていて、中には「今年も来てくれたんだ。ありがとう。」「学習支援のお兄さんだ。ありがとう」とサンタさんに変装した学生事務局の名前を覚えていました。また、5年生の学級では、最初から最後まで、手拍子で歓迎してくれました。子供たちの歓迎ぶりに感謝の気持ちでいっぱいになりました。



サンタさんとトナカイさん、ありがとう！



校長先生からプレゼントの説明



子供たちからの感謝の言葉

今年は市民の皆さんから集まったプレゼントが多かったので、午後からは野田村管内の保育園にプレゼントをお届けすることになりました。まずは、中学仮設に行くときにいつも通る野田村保育所に向かうことにしました。保育所では園長先生が私たちの到着を待っていてくださいました。子供たちの喜ぶ顔をみたかったのですが、残念ながらお昼寝の時間だったので、園長先生にプレゼントを託してきました。日向保育園と玉川保育園にも同じく、園長先生にお願いしてきました。



また、残りの時間を利用し、下安家地区の仮設住宅や米田地区仮設住宅などでプレゼントをお届けしてきました。サンタさんとトナカイさんたちはお昼も食べる間もなく、大活躍でした。

最後になりますが、今年も温かい心がいっぱいこもったクリスマス・プレゼントを提供して下さった市民の皆さま、本当にありがとうございます。来年も変わらぬご協力をお願い申し上げます。

(担当:李永俊)